

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成24年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	114	事業名	小名浜港背後地津波避難シミュレーション調査事業	事業番号	◆D-15-2-1
交付団体	いわき市	事業実施主体 (直接/間接)	いわき市 (直接)		
総交付対象事業費	12,000 千円	全体事業費	12,000 千円		
事業概要					
<p>都市センターゾーンとアクアマリンパーク内の既存施設が相互に連携を図り一体的な津波防災対策を行うことで、多くの来訪者や観光客の安全性を確保するとともに、更なる賑わいの創出と都市の拠点性を高めることで本市の復興をより推進する必要がある。</p> <p>よって、当該事業により、津波が発生した場合、アクアマリンパークの来訪者や観光客が津波復興拠点整備事業により整備される津波防災拠点施設に円滑に避難するための経路や避難時間等をシミュレーションすることにより、避難路、避難施設の位置、規模等の設定を行う。</p> <p>【復興ビジョン】</p> <p>○取組の柱3 社会基盤の再生強化 主な取組み：被害の大きかった沿岸域等について、地域の意見を聴きながら、地域特性を活かした土地利用計画を策定します。</p> <p>○取組の柱4 経済・産業の再生・創造 主な取組み：産業・観光振興の拠点として、さらには本市の復興のシンボルとして、アクアマリンパークをはじめとした周辺地域の一体的な整備・再生に向けて積極的に取り組みます。</p> <p>【復興事業計画 (第一次)】</p> <p>○取組の柱3 社会基盤の再生・強化 (1) 生活基盤の再生 取組名：被災市街地復興土地区画整理事業 取組内容：広範かつ甚大な被災を受けた市街地の復興に対応するため、それぞれの地域の復興ニーズに的確に対応し、被災市街地復興土地区画整理事業等により緊急かつ健全な市街地の復興を推進する。</p> <p>○取組の柱4 経済・産業の再生・創造 (4) 復興のシンボルとしての拠点整備 取組名：小名浜港周辺地域の復興 取組内容：本市ひいては日本の復興のシンボルとなる小名浜港周辺地域の復興に向け、小名浜港背後地をはじめ、小名浜港漁港区やアクアマリンパーク、さらには既成市街地までの周辺地域を一体として捉え、国・県や民間団体・地域住民と連携しながら、整備・再生を図る。 当該エリアのうち、その中心に位置する小名浜港背後地については、土地区画整理事業により福島臨海鉄道貨物ターミナルの移転を行い、臨港地区と既成市街地を(都)平磐城線で繋ぐとともに、その跡地(都市センターゾーン)に民間活力を導入する。</p> <p>○重点施策 5 小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクト</p>					
当面の事業概要					
<平成24年度> 津波避難シミュレーション					
東日本大震災の被害との関係					
<p>当該地区は、東日本大震災の大津波により、区域の大部分が浸水し、壊滅的な被害を受けた。</p> <p>【国土交通省の直轄事業による調査結果：小名浜(市街地)地区】</p> <p>全壊・大規模半壊：308棟 半壊・一部損壊：321棟</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
港湾施設の復旧 (小名浜港) 等					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-15-2
事業名	小名浜港背後地津波復興拠点整備事業
交付団体	いわき市
基幹事業との関連性	
<p>関連基幹事業である小名港背後地津波復興拠点整備事業は、都市センターゾーンとアクアマリンパーク内の集客施設が相互に連携を図り一体的な津波防災対策を行うことで、多くの来訪者や観光客の安全性を確保するとともに、更なる賑わいの創出と都市の拠点性を高めることを目的としている。</p> <p>当該効果促進事業は津波が発生した場合、アクアマリンパークの来訪者や観光客が津波復興拠点整備事業により整備される津波防災拠点施設に円滑に避難するための経路や避難時間等をシミュレーションすることにより、避難路、避難施設の位置、規模等の設定を行う事業であることから、基幹事業と密接に関連するものである。</p>	

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等（いわき市交付分）

No.	114	事業名	小名浜港背後地津波避難シミュレーション調査事業	効果促進事業	基本国費率(a)	4/5
-----	-----	-----	-------------------------	--------	----------	-----

(千円)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降	合計
事業費	総事業費(b+f)		12,300					12,300
	交付対象事業費(b)		12,000					12,000
	うち、市町村以外の者が負担する額を減じた額(C)	0	12,000	0	0	0	0	12,000
	うち交付金交付額(d) ○基幹事業の場合 (d) = a × b + (c - a × b) / 2 ○効果促進事業等の場合 (d) = 0.8c	0	9,600	0	0	0	0	9,600
	対象外事業費(f)	0	300	0	0	0	0	300
事業工程	交付対象事業		津波避難シミュレーション					
	対象外事業		事務費					

(参考様式)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成24年度)

平成24年11月現在

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	114	事業番号	◆D-15-2-1	事業名	小名浜港背後地津波避難シミュレーション調査事業	事業実施主体	いわき市
項目	平成24年度								備考
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
法定手続き・許認可等									
地域等の合意形成									
調査・測量・設計							津波避難シミュレーション等		津波復興拠点整備事業の施設整備計画に反映
用地買収									
移転補償									
工事									

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

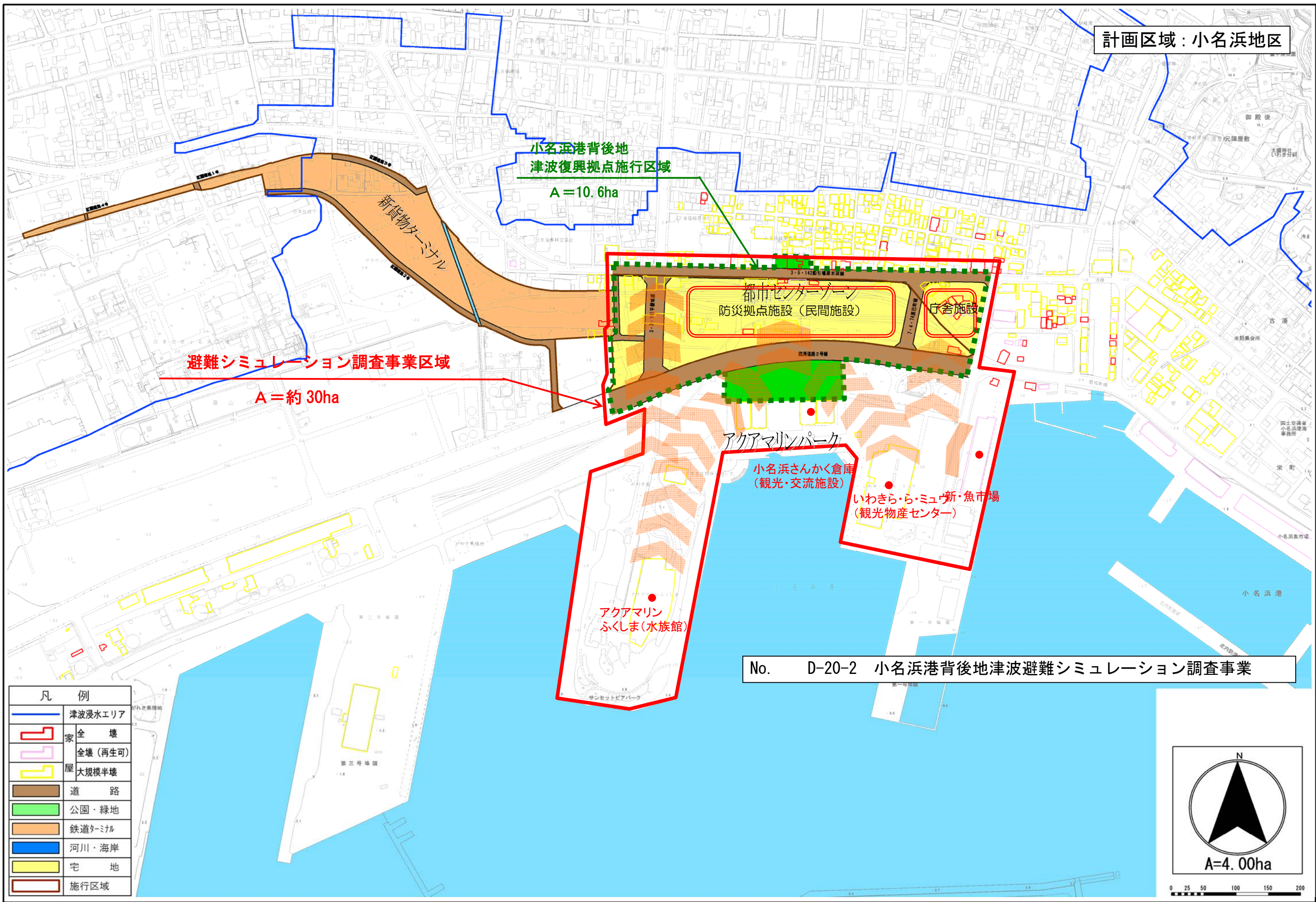
(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

平成24年度 復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料

(単位:千円)

復興交付金事業等の名称/目的及び内容		交付金の算出方法			
事業名	小名浜港背後地津波避難シミュレーション	工事費 (A)	12,000		
箇所名	小名浜港背後地	控除額 (B)			
事業認可告示年月日		交付対象事業費 (C)=(A)-(B)	12,000		
事業着手年度	平成24年度	基本国費率	4/5		
事業施行期間	平成24年度	交付額(D)	9,600		
工事延長及び施行面積	A=約30ha	摘 要			
事業完了予定期日	平成24年度	工種	単位	数量	金額
経費の配分		津波避難シミュレーション	式	1	12,000
設計委託費	12,000				
用地費及補償費					
船舶及機械器具費					
工事費計 (A)	12,000	本工事費・計			12,000

計画区域：小名浜地区



小名浜港背後地
津波復興拠点施行区域
A = 10.6ha

避難シミュレーション調査事業区域
A = 約 30ha

都市センターゾーン
防災拠点施設(民間施設)

倉舎施設

アクアマリンパーク

小名浜さんかく倉庫
(観光・交流施設)

いわきら・ら・ミュ・新・魚市場
(観光物産センター)

アクアマリン
ふくしま(水族館)

No. D-20-2 小名浜港背後地津波避難シミュレーション調査事業

凡 例	
	津波浸水エリア
	家 全 壊
	家 全壊(再生可)
	屋 大規模半壊
	道 路
	公園・緑地
	鉄道ターミナル
	河川・海岸
	宅 地
	施行区域

